



2013年2月21日

各 位

会社名 協和発酵キリン株式会社
代表者 代表取締役社長 花井 陳雄
コード番号 4151
(URL http://www.kyowa-kirin.co.jp)
東証 (第一部)
決算期 12月
問合わせ先 執行役員
コーポレートコミュニケーション部長
諸富 滋
TEL : 03-3282-0009

会社名 アステラス製薬株式会社
代表者 代表取締役社長 畑中 好彦
コード番号 4503
(URL http://www.astellas.com/jp)
東証・大証 (各第一部)
決算期 3月
問合わせ先 広報部長 河村 真
TEL : 03-3244-3201

**パセトシン[®]とサワシリン[®]：ヘリコバクター・ピロリ除菌に関するプロトンポンプ阻害薬、
クラリスロマイシン製剤又はメトロニダゾール製剤との3剤併用療法の
適応追加承認の取得について**

協和発酵キリン株式会社（本社：東京、社長：花井 陳雄、以下「協和発酵キリン」）とアステラス製薬株式会社（本社：東京、社長：畠中 好彦、以下「アステラス製薬」）は、本日、両社が各々日本において製造・販売している「パセトシン[®]カプセル 125、同カプセル 250 及びパセトシン[®]錠 250」並びに「サワシリン[®]カプセル 125、同カプセル 250 及びサワシリン[®]錠 250」を含むアモキシシリン水和物（一般名、他に1ブランドの計3ブランド）に関し、プロトンポンプ阻害薬（4成分・5ブランド）、クラリスロマイシン（一般名、2ブランド）又はメトロニダゾール（一般名、1ブランド）との3剤併用によるヘリコバクター・ピロリ感染胃炎におけるヘリコバクター・ピロリの除菌療法に係る適応追加承認を取得しましたのでお知らせします。

ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎は、ヘリコバクター・ピロリ感染により胃粘膜に慢性的に炎症細胞が浸潤した組織学的な慢性胃炎のことで、胃・十二指腸潰瘍をはじめとした様々なヘリコバクター・ピロリ関連疾患の発症に大きく関与していると考えられています。

しかし、日本におけるヘリコバクター・ピロリ除菌療法の保険適用上の対象疾患は、胃潰瘍・十二指腸潰瘍、胃 MALT リンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病、早期胃癌の内視鏡的治療後胃に限られていました。そこで、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本ヘリコバクター学会の3学会は連名で、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎においても3剤併用による除菌療法が医療保険のもとで使用できるように求める要望書を、2011年12月に厚生労働大臣に提出しました。これを受け、関連9社*は、医学薬学上公知として公表論文等を基に、2012年8月に各薬剤について医薬品製造販売承認事項一部変更承認申請を行っていました。

協和発酵キリンとアステラス製薬は、今回の適応追加承認の取得により、ヘルコバクター・ピロリ関連疾患の治療および予防に貢献していきます。

* 武田薬品工業株式会社、アストラゼネカ株式会社、田辺三菱製薬株式会社、エーザイ株式会社、協和発酵キリン株式会社、アステラス製薬株式会社、大正製薬株式会社、アボット ジャパン株式会社、塩野義製薬株式会社

なお、マイラン製薬株式会社、大原薬品工業株式会社、高田製薬株式会社も、2012年12月に、各社製剤について医薬品製造販売承認事項一部変更承認申請を行っています。

以上

【參考資料】

今回、承認事項の一部変更申請を行った製品名等は下記の通りです。

※（）内は一般名、< >内は製造販売会社

下線部は協和発酵キリン、アステラス製薬が製造・販売する製品

1. プロトンポンプ阻害薬

2. アモキシシリン水和物製剤

- ・ パセトシン[®]カプセル 125、250、同錠 250 <協和発酵キリン株式会社>
 - ・ サワシリン[®]カプセル 125、250、同錠 250 <アステラス製薬株式会社>
 - ・ アモリン[®]カプセル 125、250、同細粒 10% <武田薬品工業株式会社>

3. クラリスロマイシン製剤

- ・ クラリス[®]錠 200 <大正製薬株式会社（発売：大正富山医薬品株式会社）>
 - ・ クラリシット[®]錠 200mg <アボット ジャパン株式会社>
 - ・ クラリスロマイシン錠 200mg 「マイラン」 <マイラン製薬株式会社>
 - ・ クラリスロマイシン錠 200mg 「タカタ」 <高田製薬株式会社>

4. メトロニダゾール製剤

- ・ フラジール[®]内服錠 250mg <塩野義製薬株式会社>

5. 組合せ製剤

- ・ ランサップ®400、800 <武田薬品工業株式会社>
 - ・ ランピオニ®パック <武田薬品工業株式会社>